

会合

令和5年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省の「新興国等脱炭素化・エネルギー転換事業（省エネルギー人材育成事業）」の委託を受けて、2023年8月3日～4日の2日間ベトナム・ホーチミンで本年度の AJEEP（ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership）事業の初回会合をハイブリッドで開催しました。今回の会議では、昨年度から開始した以下の2つのスキームの成果と今年度の実施計画を確認しました。

- (1) ASEAN 共通のエネルギー管理及びその応用に関する資格制度確立（スキーム4）
- (2) カーボンニュートラル（CN）に向けたエネルギー利用技術の普及促進（スキーム5）



初回会合の参加者

会合には、ASEAN 省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表であるタイの他6カ国とコーディネーターとしての ACE（ASEAN Centre for Energy）が対面で参加し、4カ国がオンラインで参加しました。主な実施内容は以下の通りです。

- (1) 開会挨拶では、ホスト国ベトナムの商工省、EE&C-SSN コーディネーターのタイ国エネルギー省代替エネルギー開発・効率化局及び ACE から*APAEC Phase-II と連動した2つのスキームによる ASEAN 地域のエネルギー管理の深化と CN 診断などカーボンニュートラル（CN）に向けた具体的展開に期待が述べられました。ECCJ からは世界のエネルギー環境が激変する中でも CN に向けての活動は着実に進めなければならないこと、特に省エネルギーは「第一の燃料」であり CN に向けての基盤であることを強調しました。
- (2) スキーム4の活動としては、ASEAN 地域のエネルギー管理士（*SAEMAS Energy Management Professional）として認定されるために必要な共通標準モジュールの策定、認定された管理士が ASEAN 全域で活躍するための地域制度と各国制度との間の相互承認に係る MRA ガイドラインを整備することが確認されました。また、ビルや工場の現場で CN 関連プロジェクトを形成・運営管理できる専門家人材を認定するためのアドバンスモジュールの策定を開始することとしました。
- (3) スキーム5は、CN プロジェクト形成・推進を目標とし、CN 診断から中長期計画策定までの具体的活動を行います。また今年度の CN 診断先候補を協議し、マレーシアの化学製品工場とタイの公立病院に決定、診断に関する CN 診断ガイドラインや CN 診断手順の紹介も行いました。

以上の諸活動は、専門家派遣・受入研修の対面方式での実施を軸にしながら、セミナーやワークショップのオンライン実施も組み合わせて効果的に進めることとし、年間の事業スケジュールについても合意されました。

*APAEC: ASEAN Plan of Action for Energy Cooperation

*SAEMAS: Sustainable ASEAN Energy Management Certification Scheme